

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙



くりんぱーく便り

たよ

July vol. 15

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町劔地口1番地 TEL.&FAX.0768-45-1820

暑中お見舞い申し上げます。

どこからともなく聴こえてくる風鈴の音に、夏の到来を感じる頃となりました。皆様ますます健やかにお過ごしのことと存じます。

一昨年の門前クリーンパーク建設事業に係る環境影響評価準備書の縦覧では、多くのご意見を賜り、誠にありがとうございました。当社では、住民の皆様から頂いた意見に対し見解をとりまとめ、5月28日に石川県・輪島市および志賀町に住民意見見解書を提出いたしました。今後、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」の規定に沿って、手続きを進めてまいります。

私たちタケエイグループは、環境事業として、資源循環型社会構築に貢献するべく、これまで、廃棄物の発生抑制・支援・リサイクル推進・適正かつ厳格な処理施設の整備を続けてまいりました。そして、環境事業をより深化させていくため、新しい取り組みとして、再生可能エネルギー分野も積極的に手掛けております。

昨年春に稼働した、最終処分場跡地の有効利用を兼ねた太陽光発電事業に続き、今秋には、青森県津軽地方において、地元で排出される間伐材やりんごの剪定枝を有効利用したバイオマス発電を開始いたします。

こうした地元の資源を有効利用したバイオマス発電は、地域内でのエネルギー確保だけでなく、森林保護や新たな雇用にもつながるものとして、各方面から注目されております。タケエイグループでは、この仕組みを用いて、岩手県花巻市でも事業を展開してまいります。

門前クリーンパーク事業につきましては、タケエイグループの二員として、地元経済への貢献や環境保全に取り組んでまいります。また、今後も積極的な情報公開に努めてまいりますので、皆様には、事業へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

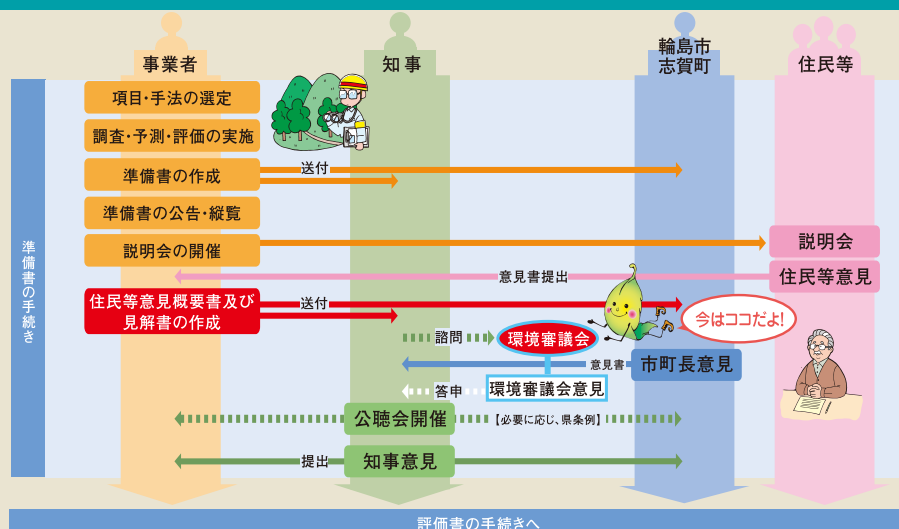
株式会社門前クリーンパーク
代表取締役社長

三本 守



環境アセスメント手続きを進めています。

門前クリーンパークでは、「ふるさと石川の環境を守り育てる条例」に沿って環境影響評価の手続きを進めています。



第66回 全国植樹祭が開催されました!



「全国植樹祭いしかわ2015」が5月17日の日曜日、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、石川県小松市の木場潟公園中央園地にて、国土緑化推進機構と石川県との共催により、国土緑化運動の中心的行事として開催されました。

この植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために、毎年春季に開催されています。今回は66回目の大会で、石川県としては、昭和58年に河北郡津幡町の石川県森林公園で第34回大会を開催して以来、32年ぶり2回目となります。

当日は天気にも恵まれ、天皇皇后両陛下によるお手植えとお手播き、多くの県民の皆様が出演して木を活かした祭りや芸能の披露など、会場全体が大きな盛り上がりを見せました。

この植樹祭には、タケエイとグループ会社の北陸環境サービスの2社が協賛させていただきました。



盛り上がりを見せた会場

社長の三本も参加

エコ・ファースト推進協議会による
第5回「エコとわざ」コンクール表彰式

このコンクールはエコ・ファースト推進協議会が、環境省の後援を得て、「地球と私たちの未来の環境を守るために考えよう!『エコとわざ』コンクール」として、全国の小中学生から応募いただいた創作ことわざの優秀作品を表彰するもので、環境意識の啓発への寄与を目的に開催されています。表彰式は昨年12月13日に行われました。

1,299点(過去最高)の応募から、以下の作品が選ばれました。



タケエイ賞の鈴木咲貴さん(右)

環境大臣賞

「伝えよう 青い地球の 赤信号」

本庄市立西中学校2年 福島敏明さん

「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

「エコとわざ 考えるのも エコ意識」

東大阪市立玉川小学校6年 小泉奈津美さん

日本ことわざ文化学会賞

「雨あがり、ためたバケツをのぞいたら、空のにじがうつったよ」

常滑市立鬼崎北小学校4年 倉田叶望さん

タケエイ賞

「すてちゃダメ!!ひと手間かけて、自然へのおん返し」

浜松市立葵が丘小学校3年 鈴木咲貴さん

※今年も「エコとわざ」を募集中です(詳しくは <http://www.eco1st.jp/> まで)。

輪島市白米千枚田での田植え

植樹祭と同日の5月17日、今や恒例となった白米千枚田での田植えイベントに、参加しました。

海に面した棚田での田植えでは、慣れない手つきの初心者が、ベテランからの優しい手ほどきを受けて無事作業を終える事ができました。

天気にも恵まれ、海も穏やか! 植え終わった田んぼを見渡せば、さわやかな汗と充実感で一杯な一日となりました。今から秋の実りが楽しみです。

今年はベテランと初心者の協同作業での手植えですから、まごころが一段とこもっていてお米の味も格別に良いのではと期待しています。



海が見渡せる爽やかな千枚田



千枚田での田植え

バイオマス発電を開始します



タケエイグループの津軽バイオマスエネルギーは、地元行政の青森県平川市、農林業に携わる地元民間事業者の皆様ご協力のもと、今秋の稼働を目指してバイオマス発電施設の設置工事を行っています。同発電所では、津軽地方の豊かな森林から発生する大量の間伐材や、りんごの剪定枝を燃料として有効活用します。

当施設の発電能力は6,250kWで、一般家庭の年間消費電力量に換算すると、約14,000世帯分に相当します。平川市11,661世帯(世帯数は5月末現在、平川市HPより)で消費される電力量を上回る発電量が見込まれ、地元では、「地産地消エネルギー」として注目されています。

また、間伐材の有効利用が進むことで、林業の活性化、森林保全による減災・防災力の強化、さらに、80~100名の新規雇用創出(関連事業を含む)、地球温暖化の一因とされるCO₂削減効果等、さまざまな波及効果が期待されています。

(写真は6月11日撮影)



右側が工事中の発電施設(株式会社津軽バイオマスエネルギー)、左側は、燃料を製造する津軽バイオチップ株式会社のチップ加工工場と事務所です。

お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク

〒927-2342 石川県輪島市門前町劔地口1番地

TEL.&FAX. 0768-45-1820

<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



この情報紙は、株式会社門前クリーンパークが、印刷プロセスで使用する3.51kgのアルミ板をリユースする事で、

CO₂排出量を35.71kg削減しました。

株式会社日本スマートエネルギー 当CO₂削減認証は株式会社日本スマートエネルギーがこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。

株式会社門前クリーンパークは、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。

